

総合葬祭 飛鳥会館がお届けするニュースレター

あすか

飛鳥 NEWS

2023年秋 第9号

<https://asukakaikan.com/>

料金後納

【差出人・返還先】

〒815-0041 福岡市南区野間1-27-5

株式会社飛鳥 古賀匡郁

ゆうメール

ぜひ、飛鳥会館の電話番号をご登録ください。

飛鳥会館の角野でございます。街にはすっかり人波が戻りましたが、マスクを付けている方、いない方、様々ですね。ご葬儀も同じで「一般葬か、家族葬か」「家族葬なら何人まで呼ぶか」「会食はしても大丈夫か」など、感染の心配が完全に消えない中、ご遺族の方々は悩まれることが多いようです。そんな時こそ、プロの葬儀士にご相談ください。喪主様のお悩み事を一緒に解決してまいります。

この『飛鳥NEWS』は当会館とご縁のあった皆様にお届けしています。

特に if 共済会（飛鳥友の会）の会員様には、もれなく送らせていただいています。

if 共済会は、会員様ご本人か入会申込時にご登録いただいた2親等以内の方がお亡くなりになった場合、葬儀基本料の10%が if 共済会より弔慰金として給付され、さらに飛鳥友の会より10%が割引されて、計20%お得になります。

昨今、当会館の電話番号をインターネットで検索して、お電話を下される会員様がいらっしゃいます。その際、最初に出てくる〈スポンサー〉欄の仲介ウェブサイトで電話番号を見つけて発信されると、当会館の会員様であるにもかかわらず、仲介業者に紹介されたお客様と同じ扱いになってしまいます。会員証を確認させていただければ、割引額に変更はありませんが、仲介料は発生してしまいます。

葬儀社選びにインターネット検索は役立ちますが、既に決めている場合には、葬儀社へ直接ご連絡ください。また、当会館は会員様毎に必ず担当者がいますから、担当者にご連絡していただいてもかまいません。

いざお身内が亡くなると、誰でも動揺してしまいますから、飛鳥会館または担当者の電話番号をご登録しておいていただけると幸いです。



↑「飛鳥会館」で検索しても、一番上に表示されるのは、スポンサー（広告）です。



株式会飛鳥 常務取締役 すみの りゅういち 角野隆一

人の心に寄り添うための、マニュアルはありません。

飛鳥会館の池田と申します。ご葬儀のお世話をさせていただいて20年以上になります。当会館には、献茶係と呼ばれるスタッフが私を含めて4名います。専任の献茶係が常勤している祭儀場も、今は多くないと思います。



献茶係の仕事

献茶係の仕事内容は、ご葬儀が滞りなく行えるための全てのお世話です。お通夜の受付から弔問客をお席にご案内し、司会者をサポートして皆様をご焼香に誘導します。通夜膳や本葬前のおとき（お別れの膳）をされる場合は、その配膳と接待・片付けも行ないますし、ご僧侶へのお茶出しなどもさせていただきます。本葬では最後にご参列の皆様で故人の棺に花を入れてお別れをしますが、会場のお花をその場で切って用意するのも、献茶係の仕事です。



目には見えない役目

このように、具体的な仕事はたくさんあるのですが、最も大切な役目は「ご遺族の気持ちに寄り添うこと」だと思っています。献茶係はご遺族が控室に入られた時からお世話をさせていただきますが、私は最初はあまり話しかけず、ただずっとご遺族を観ています。



大切な人を亡くされたばかりで話しかけられたくない方もいらっしゃいます。逆に気が動転して「何から手を付ければ良いのか」というご様子の方には、すぐ側へ行って段取りをご説明します。遠慮されないよう「どうぞ、何回でも聞いてください」とお声掛けします。家族構成や喪主様のお考えなど、ご遺族の事情は毎回異なります。ご遺族をよく観察して、その心情を汲み取ることが一番重要だと思っています。

永遠の課題

とはいえ「悲しみの中にいる方々に、どんな声をかければよいのか」は、長年この仕事をしていても、毎回悩んでしまいます。人の心に寄り添うためのマニュアルはありません。そのことに気づいてからは、先回りして言葉を用意せず、一期一会、お一人お一人に向き合っ、お話するようにしています。

根がドジですし、シャキシャキ先導するような献茶係ではありませんが、ご葬儀の後に「ちょっとした気遣いが嬉しかった」とか「そっとしておいてくれて、ありがとう」とご遺族にかけていただいた言葉を胸に、これからも日々努めています。



株式会社飛鳥 飛鳥会館 池田 佐枝子
葬儀アシスタント